

平成29年4月1日 改訂

## 水と光のまちづくり推進に関する基本方針（案） ～「水と光の首都大阪」の実現に向けて～

大阪では、この15年、行政・企業・市民が連携し、水都大阪の再生に取り組んできた結果、都心部の河川に遊歩道や船着場が整備され、それらを活かしたクルーズや規制緩和を活用した水辺の民間ビジネスが生まれるなど、大阪の水辺の風景は劇的に変化するとともに、日常的な水辺の利活用が進み、大阪は日本で最も水辺に賑わいのある都市となった。また、公民が協力して進めた護岸・橋梁・高速道路橋脚の日常的なライトアップや、年々規模が拡大し、冬の風物詩として定着した「大阪・光の饗宴」など、大阪は日本でも有数の美しい光景観を楽しめる都市ともなった。

我々は、こうした取り組みの成果をさらなる「成長」へとつなげ、水と光の魅力で世界の人々を惹きつける「水と光の首都大阪」を実現するため、2020年に向けて以下の方針を掲げ、オール大阪で取り組む。

### ◆世界に誇る「水と光のシンボル空間」の実現

大阪城から中之島、大阪湾までをつなぐ「東西軸」と都心部を口の字に流れる「水の回廊」を中心に、船が行き交い、人々が水辺で集い憩う、他都市に類を見ない水都大阪の修景づくりを進める。また、御堂筋や中之島を光で彩るとともに、民間主体の光のプログラムとも連携し、圧倒的な光景観を創出する。

こうした取り組みを通じて、世界に誇る「水と光のシンボル空間」を実現する。

### ◆水と光の広がりや厚みによる新たな魅力創造

多彩な民間の知恵を最大限活かした「水の回廊」とベイエリアとの連携、「大阪・光の饗宴」における地域連携の強化など、「水」と「光」の魅力を大阪のまち全体への魅力に広げるとともに、文化・スポーツ・グルメ・イベント等との連携によるナイトカルチャーや観光メニューの創出などによって新たな魅力を創造する。

### ◆誰もが憧れる「水と光の首都大阪」ブランドの確立

大阪を訪れる人々に感動を提供するとともに、多様な主体が連携し、大阪の「水」と「光」の魅力を経略的・効果的に発信することで、誰もが憧れ、大阪の人々が誇りにできる「水と光の首都大阪」ブランドを確立する。

### ◆多彩な民の参画とビジネスの創出・活性化

「水」と「光」を活かした都市魅力創造の好循環の実現に向けて、公民の役割分担と強い連携のもと、これまでの取り組みの成果を踏まえ、水都大阪のさらなる成長をめざす公民共通のプラットフォーム「水都大阪コンソーシアム」によるネットワーク機能や、「大阪・光の饗宴」における取り組みを通じて、企業やクリエイティブな人材等の多彩な民の参画を促し、まちの魅力を高めるビジネスの創出・活性化やまちづくり活動の促進を図る。

以上